

閉会の挨拶

内閣府総合科学技術会議議員
薬師寺泰蔵



薬師寺でございます。

冒頭でごあいさつする予定でございましたけれども、所用で途中から勉強させていただきました。

第1回目の合同プログラム会合にも出させていただいて、今回は第2回目になります。安井先生は、このイニシャティブはやや遅れていたというふうにおっしゃいましたけれども、安井先生のリーダーシップで、ものすごく、よく進んでいるというふうを感じ、安心いたしました。報告書も負けずに安井先生の下でつくられるということで、本当に安心いたしております。

平成17年度は第2期科学技術基本計画の終わりの年でございます。でも、これで全部終わるわけではございませんで、第3期に向かって、環境問題という我々に非常に密接に関係するものをどういうふうに展開していくかということをも是非お考えいただきたいと思っております。

それから、環境問題というのは、今日の化学物質のイニシャティブでも御議論がありましたように、科学者と国民の目線を結び付ける人文・社会科学も重要であると思っております。言語が違いますものですから、なかなか文科系の人間が入ってくると嫌だというお気持ちがあると思っておりますけれども、やはりこれからは人文・社会科学の人と環境の研究者がコミュニケーションをやっていけるように、我々も努力したいと思います。

本日は、どうもありがとうございました。

